

# 「大きく変化する時代をチャンスと捉え、想像力によって未来を切り開く年に」



公益財団法人七十七ビジネス振興財団

代表理事 鎌田 宏

新年あけましておめでとうございます。

皆様には2020年の新春を健やかに迎えのことと存じます。本年も明るく幸多い年でありますよう心よりご祈念申し上げます。

昨年は、皇太子さまが新天皇に即位し元号も令和に変わり、時代の新たな節目を迎えましたが、厳かな新天皇御即位の儀式は、神話の時代から変わることなく連綿と続く皇室と日本国の歴史の重みを感じさせました。

対照的に、現代の国際社会は大きな変革期にあります。経済発展が進む中、人々の生活は便利で豊かになりましたが、地球環境の悪化、エネルギーや食糧需要の急増、高齢化の進展のほか、経済のグローバル化で国際競争が激化し、富の集中や地域間の不平等といった面も生じています。

これらの経済発展にトレードオフして解決すべき社会的課題は、温室効果ガス排出の削減、食糧の増産やロスの削減、高齢化に伴う社会コストの抑制、持続可能な産業の推進や地域間の格差是正など複雑化しています。

一方で、IoTやAI、ビッグデータなど社会の在り方に影響を及ぼすデジタルテクノロジーの進展も目覚ましく、これら先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れることにより、今までにない新たな価値を生み出し、経済発展と社会課題の両立を目指すことが期待されています。

人類社会は「狩猟社会」「農耕社会」「工業社会」「情報社会」と発展してきましたが、デジタルテクノロジーの進展をきっかけとして第5段階の「創造社会（Society5.0）」へと変革する時を迎えており、目指す社会は国連が採択したSDGs（持続可能な開発目標）の達成にも貢献します。

大きく変化する時代を迎えますが、変化をリスクと構えるのではなくチャンスと捉え、想像力によって未来を切り開く視点が欠かせません。企業にとっては、持続可能な開発目標の達成につながる新製品やサービスの開発、省エネ等の推進に取り組むことにより、新規市場開拓や事業機会創出に繋がる可能性が大いにあります。

今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。昨年開催されたラグビーワールドカップは、日本代表チームの快進撃と日本のおもてなしの心や相手を敬うホスピタリティーが世界各国から称賛され、素晴らしい大会となりました。東京オリンピック・パラリンピックも世界中を熱気に包み、国内景気回復の足掛かりになることを期待したいと思います。

ラグビー界では「楕円形のボールは努力した者のほうに転がる」としばしば言います。変化が激しく不確実性が高まった今の時代だからこそ日頃の努力を惜しまず、不規則に転がるボール（チャンス）を手繰り寄せたいものです。

弊財団は、今後も引き続き宮城県内のものづくり支援・企業家支援に尽力してまいります。皆様の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。